



開こう心の扉、ニコニコ笑顔に 気軽な挨拶

校長 牧野 光 洋



先週、挨拶運動が実施されました。「おはようございます。」の元気な声が正門前をさわやかにしてくれた三日間でした。現代の日本人は、意思の疎通（コミュニケーション）がとても不得手とされています。私たちの子供や孫は、世界中の人々と渡り合っていかなければならないのにこのような有様でいいのかと不安になることがあります。

デパートやホテル、マンションのエレベーターの中で、見知らぬ方々と一緒になります。その時、皆さんは挨拶をしますか？なかなか挨拶ができません。しかし、外国へ行きますと目が合うと「ハァーい」と手を挙げてニコッとしたりおどけて見せたりもします。こちらが「やあ！」とか「こんにちは！」とかニコッとするなり、会釈をすともう顔見知りです。次に廊下やロビーで会うとニコニコして手を振ってくれます。国も育ちも違う、見知らぬ人が出会ったとき、自分が相手に危害を加えない安全な人間であることを知らしめること（挨拶）はとても大切なことでしょう。うっかり、自分の懐に手を入れたりすれば、ピストルを出すしぐさに見え殺されかねません。ヨーロッパの家庭では、お母さんが子供たちに、朝から晩まで「スマイル！スマイル！（ニコニコしなさい）」と教え育てている話を聞いたことがあります。ニコニコ笑顔でいると、あまりストレスが溜まりません。私たちの子供や孫は、世界中どこに行っても仲良く力強く生きていける人に育てなければなりません。ニコニコ笑顔で、気軽に挨拶のできる、人懐こい人間に育てることが私ども大人の努めと心得るべきところと思います。

得手すると私たちは、他人に対して親切を行うと「人から喜ばれたり、褒められたりするるのが当然だ。」とついつい思い上がりがちです。相手に喜ばれなかったり、感謝の様子が見られなかったり、挨拶をしたけど返ってこなかったりと、ついつい、やる気がしなくなります。でも昔の偉人は「親切は自己の修行だ」と仰るのです。たとえ嫌な思いをしたり、苦痛を伴ったりしても、努め、続けるべき、自己の修行なのです。ですから相手が明るい笑顔を返さなくとも、めげずに多くの人々にニコニコ笑顔で接し、気軽な挨拶を送ることが大切で



す。マスクをした生活が続いています。目元しか相手には見えませんが、心を込めて挨拶をすることそれが精進であり、安らぎの世界に至る修行と思います。

もうすぐ夏休みが始まります。なかなかお友達とも会えなくなりますが、毎日毎朝、お家の人と挨拶を交わして心の扉を開き、心を美しく磨いて暑い夏休みを乗り越えていただきたいものです。

